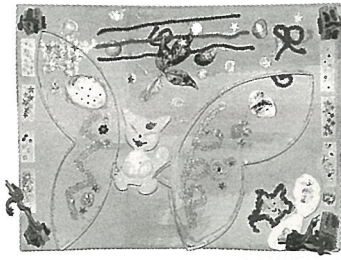




4年 大木 佳奈さん



『羽のついたねこ』

※羽のついたねこが大空を飛んでいるような気持ちで作りました。



『マラカス』

1年 實川 舞さん

※中にビー玉やビーズを入れまわりに絵をかいてきれいなマラカスにしたよ。

初もうで

林 絵理加



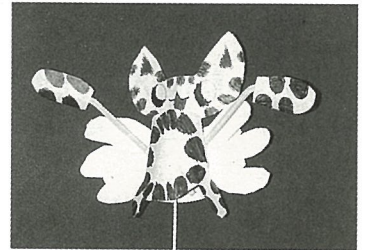
5年 林 絵理加さん

※点、はね、曲げに注意して堂々と書いた作品です。パランスもとれました。

あつまれみんなの力作



2年 竹下未希子さん



『そらとぶねこ』

※ぼつをうごかすと、ねこの手がつくよ。羽をつけるのがむずかしかったよ。

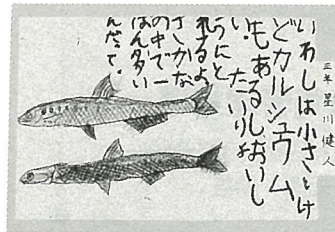


6年 小川 唯さん

美しい心

小川 唯

※「心」という字を力強く書いて、全体のバランスをとりました。



絵手紙 『いわし』



3年 星川 健人くん

※いわしは小さいけど、カルシウムがあっておいしいよ。魚の中で一番多いんだって。



ひかり俳壇



大木 素風 (二又)
遠会釈して大寒の駅ホーム
厳寒のプラットホームで、誰でも経験する極く日常的な行動を軽いタッチで詠んだ

川島 孝夫 (二又)
大寒の庭に「まずく喜寿の下駄
仮りに「庭の下駄」としたら凡作に終った。喜寿の下駄と詠んだところが非凡である

布施 和代 (二又)
寒椿 失ひし人いくたりぞ
異境へ旅立った人達。残された思いで追想に耽る身に赤い寒椿が一層心に沁み透る

川島 通則 (二又)
大寒の朝日大きく生れけり
大寒の闇に静けさつつまるる

伊藤 定男 (尾垂)
大寒の闇に静けさつつまるる
秋山 一泉 (栢田)

越川 義則 (二又)
大寒や鐘の音ひびき二〇〇年
土屋 義昭 (虫生)

大木 静水 (篠本)
初風や海展けゆく新千年
大寒や頬突張れる庭仕事

大木 静水 (篠本)
大寒や頬突張れる庭仕事
大寒や頬突張れる庭仕事

大木 静水 (篠本)
大寒や頬突張れる庭仕事
大寒や頬突張れる庭仕事

大木 静水 (篠本)
大寒や頬突張れる庭仕事
大寒や頬突張れる庭仕事

大木 静水 (篠本)
大寒や頬突張れる庭仕事
大寒や頬突張れる庭仕事

大木 静水 (篠本)
大寒や頬突張れる庭仕事
大寒や頬突張れる庭仕事

大木 静水 (篠本)
大寒や頬突張れる庭仕事
大寒や頬突張れる庭仕事

大木 静水 (篠本)
大寒や頬突張れる庭仕事
大寒や頬突張れる庭仕事